

科目名	体質改善漢方	学科	トータルビューティ科				
		学年	2	学期	後期	時間数	30
担当者	屋 由美						
実務経験	<p>はり師、きゅう師、漢方薬を取扱える登録販売者の国家資格を取得後、病院のリハビリ科、鍼灸師として一日平均 40 人前後の患者を治療する傍ら、鍼灸学校の付属治療院で研修生として先輩の指導と治療をし、経験を積む。</p> <p>鍼灸の本場、中国天津中医薬大学薬学部生として留学、大学病院の婦人科等で研修生としてさらに経験と本場の老中医の診察を肌身で感じ、学び、薬学部を卒業。</p> <p>帰国後は名古屋市東洋医学をベースにした名古屋市千種区の(株)自然の薬箱にて勤務。漢方薬局にて漢方の販売、漢方薬のご案内。東洋医学講座やお灸教室の講師を務める。2017 年よりフリーランスとして出張治療をスタート。</p> <p>はり灸サロン月花の鍼灸セラピストとして名古屋市内、近郊エリアだけでなく関西・関東への出張治療。東洋医学や薬膳、セルフケアの講座、お話し会などを開催している。</p>						
授業概要	<p>漢方・薬膳の知識を普段の生活に活かせるようになる東洋医学講座です。</p> <p>自分の体質を知り、季節や体調に合わせた食事や生活が送れるようになる知識を学んでいただきます。</p>						
到達目標	東洋医学の考え方、予防医学の必要性について学ぶことを通して、自分自身の体の状態、体の整え方を会得する。						
授業計画	<p>第1週 薬膳・漢方概論(方・薬膳・養生という言葉について)</p> <p>第2週 東洋医学概論(漢方・薬膳の基礎理論である理論について)</p> <p>第3週 薬膳実習(東洋医学の考え方で作られた薬膳スイーツと薬膳茶を食べる)</p> <p>第4週 陰陽論</p> <p>第5週 五行論</p> <p>第6週 気血水理論(気、血、水の概念について)</p> <p>第7週 東洋医学理論まとめ</p> <p>第8週 漢方薬について(風邪や、頭痛等の普段飲める漢方薬について)</p> <p>第9週 薬膳基礎理論(薬膳を学ぶ上で大切な基礎理論)</p> <p>第10週 春・夏の養生(東洋医学的な春・夏の季節に合わせた暮らし方)</p> <p>第11週 秋・冬の養生(東洋医学的な秋冬の季節に合わせた暮らし方)</p> <p>第12週 薬膳の食材について(観物・野菜・果物・肉・魚・その他の食材について)</p> <p>第13週 季節と養生(季節ごとの養生で学んだ知識をベースに薬膳茶のブレンドを行う)</p> <p>第14週 薬膳実習(東洋医学の考え方で作られた薬膳弁当を食べる)</p> <p>第15週 まとめ</p>						
授業方法	座学により知識を身に付けるとともに、その知識を活用した実習を行う。						
教科書	指定なし、適宜プリントを用意						
参考図書・参考URL	日本漢方養生学協会認定 改訂版 薬膳・漢方検定公式テキスト						
評価の方法	平常点 40%、授業内課題 40%、試験 20%						